

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月14日更新

事務事業名		職員健康診断事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務企画部
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	総務課
	基本事業	82	効果的な組織運営		所属班	秘書人事班
課長名	建岡 純雄		担当者名	衛藤 美由紀		
内線	1216		成果優先度評価結果	⑧		
コスト削減優先度評価結果	⑥		事業連番	10999		
法令根拠	労働安全衛生法、合志市職員安全衛生管理規程		業務期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) 【職員健診事業】 年1回の定期健康診断を行う。なお、技能労務職員については、特殊健診を併せて行う。【産業医委託事業】 職場の環境管理および職員の健康管理のため産業医を委託し、労働安全衛生の促進を行う。労働安全衛生法、合志市職員安全衛生管理規程に基づく健康管理として従来より行ってきた。職員数は減少しているが、退職者補充等の非常勤・臨時職員が増加したことにより健診委託料が増加した。
【業務の流れ】	【職員健診事業】 ①健診委託業者の選定および契約締結 ②委託業者と健診内容及び日程の打ち合わせ ③職員への健診の内容等の周知 ④健診の実施 ⑤業者へ委託料の支払い【産業医委託事業】 ①産業医の選定および契約締結 ②職場の安全衛生管理に対する相談③産業医へ委託料の支払い
【主な予算費目】	【款】 2 総務費 【項】 1 総務管理費 【目】 1 一般管理費 【節】 1 3 委託料
【意見や要望】	特に聞いていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・産業医委託 ・職員健診 ○○○人受診、特殊健診(技能労務職) 〇人受診	・産業医委託 ・職員健診 ・特殊健診(技能労務職)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 健診受診職員数	人
イ 産業医への相談件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
職員(一般職の非常勤職員と臨時職員含む)	ア 職員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
自らの健康を管理する意識を高め健康を維持する。	ア 健康への意識が高まったと考える職員数 人
	イ 疾病予防のための取組を行っている職員数 人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
健康診断受診数よりも「健康への意識が高まったと考える職員数」「疾病予防のための取組を行っている職員数」のほうが意図に結びつく指標として妥当である。意識が高まっている職員と疾病予防のための取組を行っている職員は年々増加しているため目標値を高くした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 人		433	428	435	452	435	0	0
	イ 件		0	0	12	0	12	0	0
② 対象指標	ア 人		525	546	552	567	560	0	0
	イ 人								
③ 成果指標	ア 人		290	0	315	0	320	0	0
	イ 人		150	0	175	0	180	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円				358		
		繰入金	千円						
	(A) 事業費計	千円	4,786	3,718	5,928	4,607	5,928	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	2	0	0
	延べ業務時間	時間	152	105	150	100	150	0	0
(B) 人件費計	千円	608	417	597	412	618	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,394	4,135	6,525	5,377	6,546	0	0	

総トータルコスト  
全体計画  
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	職員健康診断事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（SEE）

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 職員の意識や生活習慣を変えることにより健康が増進する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市が構成団体となっている一部事務組合の菊池養生園で健診を行うため、健診単価は決まっている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 労働安全衛生法に基づく健診事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市職員の健康管理は雇用事業主である市が行うべきものである。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 健康診断受診後のフォローアップ、特定健診の活用。</p>																						